

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院小児外科で硬性気管支鏡検査、喉頭微細術で全身麻酔を受けたことがある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院小児周術期センターでは、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、倫理審査委員会で承認され、高槻病院院長の研究実施許可を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

小児患者の自発呼吸温存硬性気管支鏡検査および喉頭微細術に対する最適な麻酔法についての後方視的研究

2. 研究責任者

社会医療法人 愛仁会高槻病院 小児周術期センター センター長 土居ゆみ

3. 研究の目的

硬性気管支鏡検査および喉頭微細術を受ける患児に自発呼吸を温存した全身麻酔を実施する場合、どのような麻酔方法が最適かを検討する。特に至適なプロポフォールの薬物効果部位濃度を明らかにすることで、今後より一層安全な麻酔を実施できる。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

気道評価、気道への手術のために、2018年11月1日から2025年3月31日までの期間中に、自発呼吸を温存した全身麻酔を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、性別、年齢、体重、手術対象疾患、周産期歴、気管挿管の既往の有無、プロポフォール使用量、ケタミン使用量、薬物動態モデルを用いた薬物効果部位濃度、術中合併症です。

(3) 方法

診療録から上記の調査項目を抽出します。手術を2018年11月1日から2025年3月31日までにを行った患者さんの麻酔記録から安全に検査・手術を受けることができる薬物効果部位濃度を算出します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

該当なし

8. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院 診療部 小児周術期センター 土居ゆみ

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : doi.yumi@ajk.takatsuki-hp.or.jp